

台風被害が里山里海の生態系に与えた影響の把握と、そこから考える里山里海の保全活動

活動地域  千葉県

ひろげる助成

3年目

知識の提供・普及啓発

里山里山の生物相の調査	25回
プログラム開発と実施	7回
今年度計画の達成度	80%
全体計画の達成度	70%



地元高校生との竹林整備

苦勞した点と工夫した点

■苦勞した点

南房総の里山里山の生態系の豊かさを伝えるための冊子や動画を作っていくうえで、動画の資料を集めるのが時間的、技術的にも大変だった。

■工夫した点

日本大学生物資源科学部の学生や棚田保全活動参加者、体験参加者に協力を仰ぎ、動画作成のための素材を集めた。

課題

令和元年に発生した台風は私たちの自然環境・生活環境に多大な影響を与えた。台風が里山里海に与えた影響を把握し、新たな保全活用法を検討することが急務であると考えた。

目標

台風による里山里海の生態系への影響が把握されると同時に、それらを再生・保全するための活動が普及される。

活動内容と成果

- 年27回の里山里海の生物相の調査を観察会形式で実施
- 都市住民、地元住民、地元高校生、日本大学の学生とともに年7回の体験プログラムを開発・実施し3aの森林整備及び2回の森の健康診断を行った。海と山の結びつきを体験するツアーを1回12人の参加者で行った
- 専門家の協力を得て里山の生物相や近年の気象変動が1次産業に与える影響についての勉強会を実施した
- 山と里海の繋がりと台風の影響をまとめた図鑑を500部と嶺岡山系の自然の豊かさをまとめた動画を作成した



嶺岡山系の自然史を通じ森林再生を学ぶ

全助成期間の活動を振り返って

台風15号の被害から南房総の生態系にどのような影響が出ているのかを調べ普及することから、改めて生態の豊かさやそれを活用できる地域資源の豊かさを把握し周知することができた。地元漁師を含め海辺の人々との連携を構築できたことで、海と山のコラボ商品を1年目から開発できたことがよかった。生物相の調査結果を用いて行政へ海辺の街づくりへの提言をしたことは大きかった。特に生態系に配慮した考えを伝えることができた。



生き物調査風景

〒296-0232
 千葉県鴨川市平塚540
 電話：04-7099-9050
 E-mail：info@senmaida.com
 HP：https://www.senmaida.com/



今後の展望

海と山の人々が協同で地域を考えていくことは南房総では不可欠であり、その繋がりは少しずつではあるが構築することができた。構築できた関係性をより深く、里海と里山の関連性を普及啓発しながら環境保全と街づくりのための活動を行っていく。

